

2/26(水)の報道発表

報道発表資料の配信日時 令和7年2月26日(水) 10時00分

発表項目	札幌医科大学附属病院における パラオ共和国からの「臨床修練医」受け入れについて
概要	<p>【発表内容】</p> <p>本年3月から、パラオ共和国の医師1名を臨床修練医(※)として受け入れ、研修を実施することとなりましたのでお知らせします。</p> <p>昨年7月に行われたパラオ共和国のスランゲル・ウィップス・ジュニア大統領と、本学の山下敏彦理事長・学長との会談において、同国の医療の質的向上に対する支援の要請があり、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンの協力のもと、本学での研修を行うこととなったものです。</p> <p>研修の概要等につきましては、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none">1 研修期間 令和7年3月1日～令和7年5月31日 <u>研修に先立ち、2月28日(金)10時から学長室にて、山下理事長・学長と臨床修練医、ピースウィンズ・ジャパン担当者が会談を行います。</u>2 臨床修練医 ベラウ国立病院 医師 Arurang Jason Kalei (アルラン ジェイソン カレイ) 氏 男性 36歳3 研修内容 (1) 指導医 ・総合診療科 教授 辻 喜久 ・放射線診断科 准教授 山 直也 (2) 内容 ・画像診断法、IVR(※)、放射線治療の知識を習得 ・安全で質の高い医療を提供する専門技能の習得 <p>※臨床修練制度： 医療分野における国際交流の進展と発展途上国の医療水準の向上に寄与すること目指し、医療研修を目的として来日した外国人医師、歯科医師、看護師に対し、2年間の医療行為(処方箋の交付を除く)が特例的に認められる制度です。 当院は、外国医師等が行う臨床修練に係る医師法第17条等の特例等に関する法律により臨床修練指定病院として指定されています。</p> <p>※IVR(インターベンショナル・ラジオロジー)： 画像診断装置を用いた侵襲性の低い治療法</p>
報道(取材)に当たってのお願い	インタビュー等につきましては、下記問い合わせ先までご連絡願います。
本件に関する問合せ先	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院 病院課 担当：瀬上 電話：011-611-2111 (内線31260)